

## 人間社会学科 履修登録上の注意事項

### 【一般事項】

- 1 履修登録後は、原則として履修内容の変更は認められません。
- 2 授業科目は、基本的にそれぞれに割り当てられた学年で履修してください。
- 3 授業科目のうちで、A、B、C等の区分のあるものは、いずれか一つしか履修できません。
- 4 クラス指定がされている授業科目は、自分が指定された授業科目を履修してください。
- 5 本学に入学する前に、他の大学、短大、または教育施設等において修得した単位が、本学の単位として認定されることがあります。1年次入学後2週間以内に学部事務室まで申し出てください。
- 6 卒業要件は、科目群ごとに必修・選択による必要単位数を満たさなければならないので、注意してください。

### 【基礎教育科目】

- 1 スポーツ実技Ⅰ・Ⅱについて
  - (1) 「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」の履修順序に制限はありません。
  - (2) 異なるスポーツ種目であっても、「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」からはそれぞれ1種目しか履修できません。
- 2 フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱについて
  - (1) 原則としてⅠの単位を修得していないとⅡを履修できません。

### 【専門教育科目】

- ・ 人間社会学科では、「人間」の心と行動・人間が形成する「社会」の仕組み・人間が独自に築く「文化」について着目し、人間社会についてのトータルな理解の上に立って、「心理」「経済経営」「観光地域デザイン」「英語文化」「日本語文化」という5メジャーで各自の専門性を高めます。
- ・ 「基礎科目」では、各メジャーの基礎となる科目が必修として設定されています。ここで、「人間」「社会」「文化」（「心理」「総合マネジメント」「言語文化」）の側面から、人間社会についてのトータルな理解を進めてください。本学人間社会学科の特質である総合力の獲得の基礎です。それと同時に、2年次の後期からは専門演習ゼミが開始されますから、自分がどのメジャーのどのゼミを選択するか、自分はどのメジャー・ゼミで専門力を獲得したいのか、を考えるのにも役立ててください。
- ・ 「基礎科目」から「基幹科目」へ、そして「展開科目」へと、学びは深化していきます。現代の人間社会を的確に捉えるために必要な幅広い学問分野を揃え、総合力と専門力を獲得するための体系性を、人間社会学科のカリキュラムは備えています。人間社会についての総合力を基礎にして、自分の自信の中核となる学問分野における専門力を獲得するカリキュラムです。人間社会学科は、広く浅く学ぶ学科ではありません。広い視野をもって専門性の深みをめざす学科です。
- ・ 本学科学生は全学年にわたってゼミに所属しますから、ゼミ担任に遠慮なく履修相談をし、本学科の特質を生かした学びを主体的に進めてください。